

マイクロスコープをチーム全員で活用するために ～院長の立場から～

樋口敬洋
樋口歯科医院

樋口歯科医院では 2008 年にマイクロスコープ (Carl Zeiss 社 Pico Mora) を初めて 1 台導入した。

当初は院長のみが特別な治療に用いる、というスタイルで使用していたが次第に日常臨床のあらゆる場面で活用するように変化していった。

変化とともに患者の反応も変わり、治療の精度を上げるだけでなく動画記録を用いることで説明し理解を得やすくなってきた。

そこで「歯科医師だけでなく歯科衛生士がマイクロスコープを活用するようになれば可能性は無限大に広がるのではないだろうか。」と考えるようになり、その後全ての診療チェアにマイクロスコープと動画記録装置を設置した。

今回は、導入前後の医院の変化や歯科衛生士の成長の軌跡などを提示しマイクロスコープを医院全体で活用するメリットを伝えたいと考えている。

【略歴】

- 2001 年 九州歯科大学卒業 福岡市岡村歯科医院勤務
- 2005 年 東京都 清水歯科クリニック勤務
- 2008 年 福岡市 樋口歯科医院 現在へ至る